

法学部 A方式 政治・経済

【問題構成】

- I 主として政治
- II 主として経済
- III 主として国際

【出題意図】

「政治・経済」は法学部で学ぶ専門科目に非常に近い分野です。したがって、入試問題では、入学後、法律学や政治学を専門的に学ぶための基礎知識が備わっているかどうかを確認するとともに、基礎知識を現代社会の問題と関連づける力があるかを問う問題を出題しています。大問Ⅰ～Ⅲでは、大まかに上記のような分野の区別をしていますが、実際には他の分野にも広がる問いを出題しました。

Ⅰでは、主に、日本の統治機構や、自由主義・民主主義といった政治理念に関わる問題から地球環境問題や持続可能な社会のあり方などに関する出題をしました。Ⅱでは、経済と財政に関わる諸問題を中心に、日本社会の持続性に関わる問題を広く取り上げています。Ⅲでは、主に、国際社会の大きな変動を背景に、秩序の混乱や変化に関する問題を多く出題しました。

いずれも、近年のニュース等で取り上げられた社会問題に深くかかわる問題であり、現代世界の諸問題に関して、自ら関心をもって積極的に学習に取り組んでいるか、その結果として、幅広い理解や掘り下げた理解ができているかを問うています。